



脚本_スポットラ イト



karasuno10

スポットライト
く 浦 く

人物

うらすすむ

浦進(27) 上映会・上映係

ひもとたくみ

片日元匠(28) 同・リーダー

おくやましのぶ

奥山忍(28) 同・雑務係

つっいけんじ

筒井研治(28) 同・ブース係

かたぎりてつお

桐哲夫(27) 浦の友人

スタッフ

客

① マンション”伽藍堂”・正面（夕）
がらんどう

伽藍堂の各部屋の窓に明かりが灯っている。

② 同・一室”メディアセンター”（夕）

部屋にはモニター、作業用机、会議用机がある。浦進うらすずむ（27）と日元匠ひもとたくみ（28）が向き合っている。会議用の机の上にノートPCが開かれている。ノートPCには猫とねずみの会話映像が映っている。

日元が浦を拝む。

日元「お願いがあるんだ」

眉を顰める浦。

浦「何でしょう？」

日元「そんなに怖い顔をするな。出品者の中にうまく映像に音をつなげない人がいてな。代わりにつなげてやる事にした」

浦「それで？」

日元「やってくれるか？」

浦「べ切に間に合わせたいから誰かにやって

もらう。論理がおかしくないですか？」
日元「そんな事を言ったら誰も出品してくれなくなる」

浦は溜息をつく。

浦「……わかりました」

浦はノートPCを閉じる。

③同・正面（朝）

メディアセンターの窓だけ明かりが灯っている。

④同・メディアセンター（朝）

ノートPCに向かい座っている浦。並べた回転椅子に横たわる奥山忍おくやましのぶ（28）。
筒井研治つっいけんじ（28）は机に突っ伏している。
タイプ音。

PC画面の処理進捗ゲージが100%を示す。

PCからDVDを取り出した浦はモニタ前に移動してDVDデッキにDVD

を入れる。

回転椅子に座りモニタを見つめる浦。

モニタに映るカウントダウン画面。

ビニール袋を持った片桐哲夫かたぎりてつお(27)が

ドアから入ってきて、浦を見る。

片桐「お疲れさん。差し入れ持ってきたぜ。

あとで食おう」

浦はモニタを見たまま、

浦「ああありがとう」

片桐は会議机にビニール袋をおく。机の前には、奥山が寝ている。

机に突っ伏す筒井を見る片桐。

片桐は机から、取り出した回転椅子を

浦の隣に持って行き座る。

片桐「これ、今回の上映作品？」

浦「ああ」

片桐「……完成したの？」

浦「多分」

片桐「何日起きてるの？」

浦「今日で三日目」

モニタの画像が黒くなる。

片桐「あれっ、ここって映像ないの？」

浦「違うな。レンダーリングが失敗してる」

奥山が目を覚まし、浦に歩み寄る。奥山が電源コードに足をひっかけ、会議机からノートPCを落とす。

浦と片桐が奥山のほうを見る。

奥山「うわあやっちゃった……おはよう」

地面の上の壊れたノートPC。

⑤ 同・正面

浦「（叫び声）」

⑥ 同・メディアセンター

数人のスタッフが会議席に座っている。作業机でPCに向う浦。浦の傍らで、上映作品リストを見る片桐。片桐の横でPCを凝視する奥山。

日元が入ってくる。

日元「さあ皆準備を開始しよう。手が空いて

いる奴は荷物を会場に搬入してくれ」

浦の所に歩いてくる日元。

日元「お疲れ様。DVDはできた？」

浦は作業の手を止める。

奥山と片桐は浦を伺い見る。

浦「……まだです」

日元「ええ!? どうして!？」

壊れたノートPCを指差す。

浦「……奥山さんが電源コードに引っかかって、PCごとデータが飛びました」

日元「奥山あ！」

奥山「すまん！」

日元を拝む奥山。

⑦ふれあいスタジオ・入口

“上映会スポットライト。上映開始
前十時”のポスター。

⑧同・受付ブース

筒井がスタッフと受付ブース用の机を

運んでいる。入口の自動ドアが開き、

浦がやってくる。

浦「おはようございます。準備は順調ですか？」

机を置く筒井。

筒井「おはよう。会場のセッティングに関してはほぼ終了。あとはお前の焼いたDVDをセットするだけだな……大丈夫か？ 寝てないんだろ？」

浦「ああ、DVDならここに」

浦は自分の手のひらを見つめる。

筒井「どうした？」

浦「……いっけねどっかに忘れた」

筒井「ええ!?! どこ置いてきたんだ」

浦「電車の中か……メディアセンターかな」

携帯電話を取り出す筒井。呼び出し音。

筒井「そこに上映用のDVD忘れてないか？」

え？ うんうん。じゃあ他の荷物と一緒に持ってきてくれ」

携帯電話をしまう。

筒井「メディアセンターに置きっ放しだった

みたいだ。奥山が持ってきてくれるってさ」
自分の手の平を見る浦。

⑨ 同・入口

客が入ってきている。

⑩ 同・受付ブース

筒井と向き合う奥山。筒井の横に浦。

不機嫌そうな筒井。

筒井「何でお前も忘れるんだ！」

頭を搔く奥山。

奥山「いや悪い。色々荷物を集めているうちに頭からすっぽ抜けたみたい」

筒井は頭を抱える。

筒井「それで……メディアセンターには誰か残っているのか？」

奥山「いない。きっちり戸締りしてきたもん俺」

得意顔の奥山。

⑪ 同・入口

雨。ポスターの上に張り紙“上映会ス
ポットライト。上映スケジュール変更
のお知らせ。4時間遅らせます。申し
訳ございません。”と書かれている。

⑫ 伽藍堂・メディアセンター

窓の外は雨。

雨に濡れた浦が駆け込んでくる。

大急ぎで会議机の上やモニタの横。作
業机を調べる浦。

作業台の上のDVDを発見し微笑む浦。

⑬ ふれあいスタジオ・入口（夕）

くもり空。

⑭ 同・上映会場（夕）

暗闇の中、プロジェクタがスクリーン
に映像を映し出している。浦と片桐が
プロジェクタの側に並んで座っている。

パイプ椅子に座る客達。

浦はスクリーンからの光で照らし出された観客の顔を伺い見る。

怪訝な顔をする片桐。

片桐「（小声で）あれ、お前の作品、音なし？」

スクリーンには猫がねずみに向かって話しかけている映像が映っている。

浦「（小声で）入れるつもりだったけど――」

席を立ち、身を乗り出す子供。

子供「猫かわいい！」

浦は目を見開き、子供の方向を見る。

浦の口角があがる。

スクリーンには“ココ”の文字。

奥山が電源をONにして照明をつける。

正面スクリーン前に日元がマイクを持って歩いてくる。

日元「これでスポットライトの全プログラムは終了です。本日はご来場ありがとうございました」

浦の拍手に続き。拍手する観客達。

⑮ 同・入口（夕）

観客達が会場から出て行く。

⑯ 居酒屋“どんべえ”（夜）

奥山、筒井、片桐とスタッフと客達が席についている。席を立っている日元。日元はジョッキを掲げる。

日元「本日はお疲れ様でした。乾杯！」

互いにジョッキを鳴らし合う日元、奥山、筒井、片桐とスタッフと客達。

日元「浦がいないな。何か聞いているか」

奥山「いんや、荷物を一度メディアセンターに戻してくるって言ってたけど」

日元「そうか。せっかく。お客さんと懇親できるのにもったいない」

片桐はビール片手に出口の方向を見る。

⑰ 伽藍堂・メディアセンター（夜）

会議机の上で大の字になり寝ている浦。